

「調査やり直し」約束破棄から3年 政府は9月を期限に約束を履行させよ！

すべての拉致被害者を救出するぞ！全国一斉行動

北朝鮮による約100人の日本人拉致被害者、そして少なくとも世界12か国の拉致被害者が、自由を奪われながら、今も救出の日を待っています。生きている拉致被害者が北朝鮮にいるのに、なぜ助けられないのでしょうか。

救出のためには、北朝鮮を、拉致被害者を返さざるをえない状況に追い込むことが必要です。制裁と国際連携の圧力で交渉の場に引き出さなければなりません。朝鮮総連幹部6人の北朝鮮への自由往来禁止などの制裁を緩めてほしいと、北朝鮮は2008年8月、生存者を帰すための「調査やり直し」を約束しました。ところが、同年9月になり突然その約束を破棄して現在に至っています。

北朝鮮が「調査のやり直し」の約束を一方向的に破棄してから今年9月で3年になります。政府はあらゆる手段を動員して、「調査のやり直し」の約束履行とそのための交渉再開を強く要求しなければなりません。それでも北朝鮮が9月までに約束を履行しない場合、在日朝鮮人の再入国不許可対象拡大（今でも朝鮮総連・傘下団体のほとんどの幹部は北朝鮮に自由に往来しています）、北朝鮮への送金全面禁止（現在300万円以上は届出義務がある）などの全面制裁を発動すべきです。家族会・救う会はその実現のため全国一斉行動を展開していくことを決めました。

不誠実な態度を取り続けている北朝鮮に、わが国と国民の毅然とした意思と強い怒りを伝えるために、そして米国を初め世界に向けて、わが国の真意を正しく伝えるために、私たちは、政府が約束から3年になる9月を期限として、「調査のやり直し」実行を強く迫ることを求めます。政府を動かす大きな力は日本国民の世論です。政府が毅然とした対応を行うよう、国民の皆様の叱咤激励をお願いいたします。

日本国民の強い意思を政府に、そして北朝鮮に示すために、全国一斉行動を実施します。皆様のご協力、ご参加をお願いいたします。

北朝鮮に拉致被害者を返せとの強い意思を示すブルーリボンバッジ着用を！

■ ピンバッジ



■ 新蝶結びバッジ(安全ピン)



郵便局備え付けの郵便振替用紙の「通信欄」を利用して救う会にお申込みください。1個500円、申し込みは2個以上。送料10個まで80円、それ以上は無料。また、ご依頼人欄（左側）に、送付先の郵便番号、住所、氏名、電話番号（携帯も可）を必ずお書きください。

生きているのになぜ助けられない！ 北朝鮮という瓦礫の下から「早く助けて！」の声



飯塚繁雄・家族会代表

「生きているのになぜ助けられない！すべての拉致被害者を救出するぞ！
国民大集会（23.05.08）」での挨拶から

拉致問題に関するみなさんの日頃のご理解とご支援を本当にありがたく感じています。東日本大震災がありました。私たちとしても謹んでお見舞い申し上げます。これは我々が体験したことのない未曾有の大災害です。多くの方々が被災され、中には亡くなった方、行方不明の方もおられます。そして復興への道を歩んでおられる方も多数おられます。

そういった姿を見るにつけ、人のいのちの大切さをひしひしと感じます。今回、大震災の最中に国民大集会を開催するということにつきましても、我々としてはいろいろと考えました。絶対に拉致問題を風化させてはならないということ、そして

早い時期に解決をという皆様の声を受け、我々も断固として活動をしていかなければならないと思っています。

拉致は、天災ではなく人災です。北朝鮮という犯罪国家による非情な事件です。人のいのちを大切にしない国によって連れて行かれた人たちの救出の問題です。

災害の映像を見れば、まさにがれきの下にまだまだたくさんの方がいるのではないかと。そしてこれを私たち被害者に当てはめれば、北朝鮮というがれき、さらにその上にかぶされた網があります。その下から、「早く助けて！」、「お母さん助けて！」という声が、私には聞こえます。みんな生きているんです。生きている人を目の当たりにしながら助け出せないというこのもどかしさ。これは我々の家族のみならず、みなさん、そして国がそうとう感じている筈です。

なぜ助け出せないのだろうということについては、非常に大きな問題が山積していると思いますが、やはり日本国が、日本国民が被害にあっているということをもすきちっと見ていただいて、それから何をするか。もう答えははっきり分かっている筈です。もう助け出さなければなりません。

それについて色々な手段、戦略、戦術があると思いますが、それがなかなか見えてこない。やはり何と言ってもこれを担当する政府の責任、これが問われると思います。政府が色々な活動をしていただいているのは分かります。それによって次に何が来るのか。いつまでに、何をしなければいけないのか、そういった期限を切った戦略というものが絶対に必要だと思えます。

30年も35年も待っている人の気持ちですが、一日たりとも待てない、毎日毎日が待っている生活をしいられている状態です。是非とも、皆様におかれましても、このような私たちの気持ちも踏まえて、色々な形でご支援、ご協力をお願いする次第です。

※首相に全面制裁の発動を求める、はがき・メールを！

〒100-8968 千代田区永田町2-3-1 内閣総理大臣 殿
首相官邸のホームページ=<http://www.kantei.go.jp/>の「ご意見募集」利用

主催 北朝鮮による拉致被害者家族連絡会（家族会）
北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会（救う会）

事務局 〒112-0013 東京都文京区音羽1-17-11-905（救う会）
電話03-3946-5780 F A X 03-3946-5784
info@sukuukai.jp <http://www.sukuukai.jp>

支援先 郵便振替口座00100-4-14701「救う会」／ゆうちょ銀行 店名019 当座 0014701
みずほ銀行池袋支店（普）5620780 救う会 事務局長 平田 隆太郎（ヒラリウウウ）
家族会への支援金 三菱東京UFJ銀行上尾支店 普通 1383781 家族会 飯塚繁雄